

# GSRC seminar

National Center for Geriatrics and Gerontology, Research  
Institute

## 神経免疫連関からみた生体恒常性と 老化研究への挑戦

神経免疫システム研究部

田中 達英 部長

2025年6月19日（木）16時10分～  
第1研究棟2階大会議室

神経系と免疫系は相互に影響を及ぼし合い、互いに制御し合う関係にある。外界からの刺激や細胞内外組織で生み出される環境因子・代謝産物などに対するセンサーや受容体を介して神経系・免疫系に入力された情報は、ネットワークとして統合・処理され、生体の恒常性が維持される。こうした神経免疫連関の破綻が、複雑な病態を呈する疾患の発症に関与することが示されており、複数の臓器・システム連関を対象とした研究の重要性が強調されている。本セミナーでは、これまで我々がおこなってきた中枢および末梢神経系における神経免疫連関のオーバービューに加え、老化研究の観点から見た今後の展望や新たな着想について紹介したい。